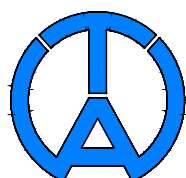


エコアクション21

# 2021年度 環境経営レポート



(対象期間 2021年10月～2022年9月)



## 東和建設株式会社

発行日 2022年10月31日

改定日 2022年11月27日

# I. ごあいさつ

東和建設株式会社は、平成3年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

## 環 境 経 営 方 針

### 基 本 理 念

東和建設株式会社は、舗装工事業を主体に営業活動を行っており、自然環境の保全を、企業として取り組むべき重要課題と認識し、全ての活動を通して継続的な改善を実施し、従業員全員で、積極的に活動し、社会や地域に貢献する取組みを推進します。そのための環境経営システムを維持し、継続的に改善していきます。

### 行 動 指 針

1. エコアクション21を確立運用し、継続的な改善に努める。
2. 環境に関連する法規則及び当社が同意するその他の要求事項を明確にして遵守する。
3. 環境への取り組み。  
以下の項目について環境目標・環境活動計画書を定め定期的な見直しを行い、継続的な改善に努める。
  - ① 地球温暖化の原因となる、二酸化炭素排出量の低減に努める。
  - ② 廃棄物の削減及び再利用に努める。
  - ③ 水道水の節水に努める。
  - ④ 環境にやさしいヒートプレート施工を実施する。
  - ⑤ 産業廃棄物収集運搬における環境配慮(収集運搬車両の燃費向上)
4. 地域住民との密接なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組む。  
(建設業協会の国道250号線清掃に参加する)
5. 環境経営方針を一般の人々に公開する。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 平成23年4月1日  
改定日 令和3年10月1日

代表取締役 大和 武人

## II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

東和建设株式会社  
代表取締役社長 大和 武人

(2) 所在地

本社 〒671-1135 兵庫県姫路市大津区新町2丁目47番地  
資材置場・土場 〒671-1133 兵庫県姫路市大津区吉美846

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役 遠矢 竜也 TEL : 079-237-8433  
担当者 菱田 孝司 FAX : 079-236-8938  
E-mail: t.hishida@towakensetsu.co.jp

(4) 事業内容

舗装工事業・土木工事業

兵庫県知事許可 (特-3) 第457390号 許可 令和4年3月21日  
有効期限 令和9年3月20日

産業廃棄物収集運搬業(事業区分: 収集運搬業(積替え・保管を含まない))

兵庫県知事許可 第 02805127521 号 許可 令和3年5月24日  
有効期限 令和8年5月23日

取扱産業廃棄物の種類 1. 汚泥 2. 廃プラスチック類 3. 紙くず  
4. 木くず 5. 繊維くず 6. ゴムくず 7. 金属くず  
8. ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
9. がれき類

(5) 事業の規模

設立 平成3年8月6日

資本金 20百万円

売上高 9億円(2021年度実績)

うち産業廃棄物収集運搬売上高 5百万円 (建設工事と一括請負)

各事業の規模

建設業 年間工事完成高 900百万円

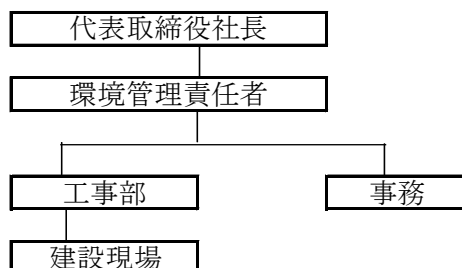
	本社2F事務所	1F倉庫	資材置場	土場	合計
従業員	29	無人	無人	無人	29
延べ床面積	52.0㎡	59.8㎡	52.5㎡	172.0㎡	336.3㎡

産業廃棄物収集運搬量 2,100t(2021年度実績)

許可運搬車両 4tダンプ 3台

3tダンプ 2台

(6) 組織



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>環境教育訓練計画の作成と実施の管理</li> <li>特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む）</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
工事責任者 （現場代理人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施</li> <li>建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>緊急事態対応訓練の実施、記録の作成</li> <li>建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

(7) 事業年度 10月～翌年9月

Ⅲ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 東和建设株式会社  
 対象事業所： 本社  
 対象外： なし  
 活動： 舗装工事業・土木工事業  
 産業廃棄物収集運搬業

#### IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年度 基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	181,581	194,373	212,641	162,832	176,637
電力使用量	kWh	10,035	9,254	8,772	8,427	9,425
ガソリン使用量	L	14,366	13,975	13,851	12,398	16,626
軽油使用量	L	53,978	58,922	66,259	49,886	50,504
プロパンガス使用量	L	1,757	1,890	2,063	849	1,539
廃棄物排出量	kg	509,900	191,380	953,392	258,732	1,124,752
一般廃棄物	kg	1,180	1,180	1,172	1,042	1,012
産業廃棄物	kg	509,900	190,200	952,220	257,690	1,123,740
水道水使用量	m <sup>3</sup>	230	184	179	175	187

注) 化学物質は使用していない。

#### V. 環境経営目標及びその実績

##### (1) 中期目標

項目		年度	2017年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>		181,581	174,318	172,502	170,686	168,870
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
電力使用量削減	kWh		10,035	9,633	9,533	9,433	9,332
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		3,352	3,218	3,184	3,150	3,117
ガソリン 使用量削減	L		14,366	13,791	13,648	13,504	13,360
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		33,353	32,019	31,685	31,352	31,018
軽油 使用量削減	L		53,978	51,819	51,279	50,739	50,200
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		139,599	134,015	132,619	131,223	129,827
プロパンガス 使用量削減	L		1,758	1,687	1,670	1,652	1,635
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準		5,277	5,066	5,013	4,961	4,908
II. 廃棄物排出量削減							
1) 一般廃棄物 削減	kg		1,180	1,133	1,121	1,109	1,097
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
2) 産業廃棄物(混合) 削減	t		15.87	15.24	15.08	14.92	14.76
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
III. 建設リサイクル率 の向上	%		95	95	95	95	95
IV. 水使用量 削減	m <sup>3</sup>		230	221	219	216	214
	対基準			△4%	△5%	△6%	△7%
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件		84	87	88	89	90
	対基準			+4%	+5%	+6%	+7%
VII. 環境に配慮した収 集運搬(収集運搬車両 の燃費向上)	km/L		5.08	5.13km/L	5.18km/L	5.23km/L	5.28km/L
	対基準		(2020年度)	+1%	+2%	+3%	+4%

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2018年度調整後係数 0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。

(2) 2021年度の実績

項目	年度	2021年度における実績 (2021年10月～2022年9月)				
		2017年				
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	181,581	174,318	176,637	99%	△
			△4%			
電力使用量削減 排出係数 0.334	kWh	10,035	9,633	9,425	102%	○
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	3,352	3,218	3,148		
			△4%			
ガソリン 使用量削減	L	14,366	13,791	16,626	83%	×
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	33,353	32,019	38,572		
			△4%			
軽油 使用量削減	L	53,978	51,819	50,504	103%	○
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	139,599	134,015	130,301		
			△4%			
プロパンガス 使用量削減	L	1,758	1,687	1,539	110%	○
	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	5,277	5,066	4,616		
			△4%			
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	1,180	1,133	1,012	112%	○
			△4%			
産業廃棄物削減 (混合廃棄物)	t	15.87	15.24	18.53	82%	×
			△4%			
III. 建設リサイクル率 の向上	% 対基準	95	95	99.5	105%	○
IV. 水使用量 削減	m <sup>3</sup> 対基準	230.0	221	187	118%	○
			△4%			
VI. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	84	87	127	146%	○
			+4%			
VII. 環境に配慮し た収集運搬(収集運 搬車両の燃費向上)	km/L 燃費の把握		5.13	5.82	113%	○
	対基準		+1%			

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 運用期間における建設リサイクル率の実績＝再資源化量／産業廃棄物発生量

注4) 環境に配慮した施工：ヒートプレート工法採用件数

## VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> (目標未達成)		
(下記の通り)	△	(下記の通り)
<b>電力使用量の削減</b> (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	適切に冷暖房を使用している。 今後も継続したい。
・電気のスイッチを区域ごとに、こまめに消す	○	今後も取組を継続する。
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標未達成)		
・急加速・急停車の防止	△	より安全運転を心掛けたい。
・アイドリングストップ	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・空気圧、オイル等の点検	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
<b>軽油使用量の削減</b> (目標達成)		
・急加速・急停車の防止	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・建設機械のアクセルペダルを1.2割程度下げる	○	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
<b>プロパンガスの削減</b> (目標達成)		
プラントに高温での合材出荷を依頼	○	気温等に注意して施工する。
適正な人員や機械の配置	△	もっと省エネ意識を持たせ、ムダな使用を無くして行く。
<b>一般廃棄物の削減</b> (目標達成)		
・分別の徹底	○	今後も分別を徹底し、削減努力する。
・ミスコピーの防止	○	今後も努力が必要と思われる。
・裏紙の使用	○	引き続き取組を継続する。
<b>産業廃棄物の削減(混合廃棄物)</b> (目標未達成)		
・分別を徹底する	△	分別を徹底する。
・再利用の推進	△	分別ができ、状態が把握できるようになった。
<b>建設リサイクル率の向上</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート殻の割合が多く、リサイクル率が高かった。
・ASガラ・CONガラの再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。
<b>水使用量の削減</b> (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。
・清掃時・手洗い時の節水	○	節水意識が向上している。
・洗車は高圧洗浄機を使う	○	今後も取組を継続する。
<b>環境に配慮した施工の推進</b> (目標達成)		
・ヒートプレート工法を実施する	○	引き続き継続する。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も、左記取組を継続する。
<b>環境に配慮した収集運搬(収集運搬車両の燃費向上)</b> (目標達成)		
・燃費を向上させる。	○	よくできている。今後もエコドライブを継続する。

## Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
消防法	消火器の維持・点検	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し・指示

燃料は、ガソリンについては目標未達となったが、その他は概ね目標達成となった。現場の状況によるが、今後も削減努力したい。節電・節水については、よく出来ている。一般廃棄物も削減は出来ている。工事の状況により産業廃棄物が増加し、目標未達となっている。全体としては、わずかに環境負荷増となった。今後も削減努力したい。古い重機・車両の買い替えも順次行っている。現場の状況で、削減が難しい項目もあるが、今後も継続して、取り組んでいきたい。節電や節水については、節約意識が定着し成果が出ている。また現場で発生した残土やアスファルトガラを再利用して製造される再生路盤材使用の促進も引き続き行っている。エコアクション取組も従業員全員に浸透している。従業員一人一人が環境への意識を持って業務にあたり、持続可能な社会作りに貢献できる企業となるよう引き続き努めていきたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2022年10月31日

代表取締役 大和 武人